

愛媛大学法文学部人文社会学科国際関係論 担当教員の公募について

- 1 所属学科 法文学部人文社会学科
- 2 専門分野 国際関係論
- 3 担当職名(人員) 講師(1名)
- 4 待遇 愛媛大学職員就業規則, 同給与規程その他本学の諸規定によります。
- 5 勤務形態 テニユア教員育成制度適用(任期5年・備考欄(4)を参照)
- 6 主要担当授業科目

- * 「国際関係論」(単独講義科目)
- * 「海外フィールド実践」(単独少人数科目)
- * 演習(単独少人数科目)
- * 地域研究に関わる講義科目(単独講義科目)
- * 共通教育科目(単独講義科目)

【留意事項】

本学部には夜間主コースがあるため, 平日の 18:00~21:10, 土曜日の 13:30~18:20 にある授業を担当していただく場合があります。

- 7 応募資格 (1) 大学院博士課程修了者または修了見込みの者
(2) 上記(1)と同等以上の教育研究能力があると認められる者
(3) 「国際関係論」の授業を担当できる者
(4) 「海外フィールド実践」で学生を海外に引率できる者
- 8 採用予定日 平成30年4月1日
- 9 応募期限 平成29年10月10日(火)必着
- 10 選考方法 第1次選考 書類審査
第2次選考 模擬授業および面接(旅費等は応募者負担)

11 提出書類

〔様式は JREC-IN Portal https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D117080440&ln_jor=0 よりダウンロードをお願いします〕

(1) 履歴書

「履歴書様式」に, ①学歴, ②職歴, ③学位称号, ④研究歴(研究助成歴, 受賞歴等), ⑤学会及び社会における活動歴(所属学会等)を記入してください。確実に連絡がとれる電話番号とメール・アドレスも記入してください。また, 顔写真を貼付してください。写真貼付の代わりに「履歴書様式(ワードファイル)」に画像を貼り付けて印刷してもかまいません。(1部)

(2) 著書及び学術論文の目録と概要

「著書及び学術論文の目録と概要様式」に, ①著書, ②学術論文, ③その他(研究ノート, 学会発表等)を記入し, それぞれについて200字程度の概要を付してください。学術論文に関しては査読の有無, 単著共著の別を記してください。(1部)

(3) 公刊著書・学術論文等, 主たる業績5点以内(コピーでも可)(各1部)

(4) 教育計画調書(①と②につき, それぞれA4用紙1枚程度)

① 「国際関係論」(15コマ)

② 「海外フィールド実践」(海外における7日~10日程度の活動と事前学習・事後学習の概要)

なお, 提出書類の返却には応じかねます。あしからずご了承ください。不採用時の応募書類の取扱については, 備考(2)を参照してください。書籍等について返却を希望する場合, 返送用の封筒等を用意していただければ, 着払い等でお送りいたします。

- 12 書類送付先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番 愛媛大学法文学部長 加藤好文宛
(送付物の表面に「国際関係論担当教員応募書類」と朱筆し、「書留」「宅配便」等、
配達記録が残る形で送付してください。)
- 13 選考結果の通知 採否の結果については、決定し次第、履歴書記載の住所へ送付致します。
- 14 問合せ先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番
愛媛大学 法文学部 人文社会学科 社会科学講座 榎林建司
電子メール：narabayashi.takeshi.mk@ehime-u.ac.jp
(お問い合わせは、電子メールのみにてお願い致します。)
- 15 備考 (1) 応募書類に記載された個人情報は、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福利関係に必要な手続き以外の目的で利用もしくは外部に提供することはありません。ただし、選考結果を本学ホームページで公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。
- (2) 不採用時には、本学部の責任において応募書類を破棄処分いたします。
- (3) 男女共同参画社会基本法の趣旨に配慮した教員選考を行います。業績等が同等と判断される場合、女性候補者を優先的に採用します。
- (4) 愛媛大学では、「講師」「助教」の採用者に対して「テニユア教員育成制度」が適用されています。同制度の狙いは、①新規採用の若手教員等に対し、テニユア教員育成期間に体系的なプログラムのもとで大学教員として必要とされる業務（教育、研究、マネジメント）全般に関わる能力開発と財政的支援を全学的に行い、教育者・研究者としての自立を促進すること、及び、②テニユア教員育成期間中の各教員の総合的な業績を厳正に評価して、教員の質については教育の質を担保することにあります。
- 各部局は、テニユア教員育成期間中に中間審査と最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニユア職に移行させます。テニユア職移行時に、講師は准教授に昇任させます。
- 詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。
<http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>